

令和5年度

委員会だより

NO. 2

教育・環境委員会編

北海道PTA連合会

子どもに関する教育課題の解決、子どもを取り巻く教育・生活環境整備等に関することについて、年3回の会議をもって調査・研究を進めています。

【研究テーマ】

子どもとともに 大人も学び合い 心豊かな共有を目指して
～子どものために、大人がどう行動するか～

【研究内容】

(1) 子どもの教育活動

① 生活習慣の改善を目指す活動

ア 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進 イ 生活リズムの確立
ウ あいさつ運動の実施

② 心を育てる活動

ア 自然や社会での体験活動 イ 家庭や地域での活動
ウ たくましい心を育む活動

(2) 大人の環境整備活動

① 安心安全な地域づくり ② 子どもを守り育てるための研修

③ 子どもへの働きかけ

◇令和5年10月14日（土）に、第2回委員会（教育・環境委員会）が開催されました。その主な内容をお知らせします。

1. 令和6年度北海道ブロック研究大会 教育・環境委員会担当分科会提言について各地区P連からいただいたアンケート結果（38件）をもとに話し合いました。ご協力ありがとうございました。

・提言では、アフターコロナにおいて、変容したPTA活動、新たなPTA活動の姿を明確にし、各地区のPTA活動の参考となるものにしたい。

2. いただいたアンケートについてのいくつかの意見、感想

- ・留萌の地域連携した農業活動は特色がある。
- ・小樽手宮中央小の雪を使った取組は学校や保護者にあまり負担がなくよい取組。

- ・千代田小学校のアフタースクール、アフタースポーツの取組はCSと連携しており、これからのPTA活動の新しい取組。
- ・北見高栄小、完全ボランティア制による新しいPTA活動はとても参考になると思う。
- ・北斗茂辺地小中、リサイクル活動は今必要な取組。また、PTAの新たな資金源として、自立するPTAの取組にもなる。
- ・上美生小中の地域防災訓練は、防災の実際のことを考えると大切な取組だと思う。
- ・富原小の取組。消毒ボランティアはとても身近でどの学校もやっていて、話題として広がるのではないかな。
- ・附属釧路義務教育学校は、PTAをプロジェクト制にし、楽しく参加できる形式にしている。

※前回の正副委員長会での話し合いから

- ・小樽張碓小、北斗石別小中、北斗谷川小（今はこの活動はやっていない）があがっていた。
- ・取組の紹介として学校、単Pが負担感なくできるものでないと「すごいね」で終わってしまい、参考となるのは誰でも出来るものであることが大切。
- ・学校の教員に負担をかけたくないという思いをもっている。できる限り現場に負担をかけない活動のあり方を考えていきたい。そう考えると、千代田小のアフタースクール、アフタースポーツは先生方の負担を減らし、子どものためになるよい取組である。
- ・PTA活動として、ただ楽しい活動ではなく、子どもの学びや防災など子どものためになるものがよいと思う。
- ・千代田小の取組は価値があると思う。防災も、話題としてはよいと思う。
- ・ここで選ぶのではなく、協議のコンセプトに照らしてテーマにあった内容を選ぶとよい。
- ・防災の取組は大切。

以上のことをふまえ、報告し、選んでいきたいと考えています。

☆次回の委員会は、12月2日（土）13：00～です。



北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 時計台通ビル6階

TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp